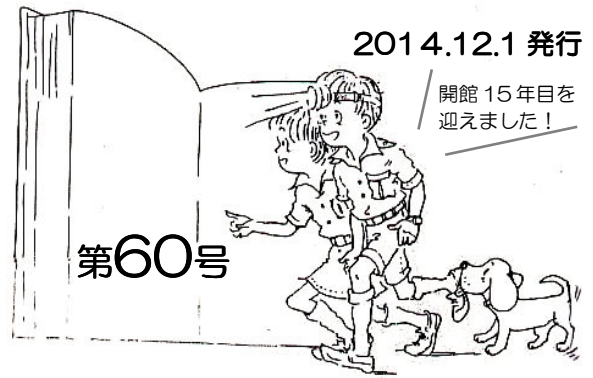


にのみやまちとしょかん 図書館だより

2014.12.1 発行

開館 15年目を
迎えました!

第60号



特集

きたむらかおる

北村 薫 トークライブ 開催!

11月1日(土)、直木賞作家で二宮ゆかりの人物でもある北村薫氏のトークライブ「北村 薫 読むこと書くこと」をラディアンミーティングルームで開催しました。北村氏は早稲田大学在学時代から、二宮町の吉田屋店主安藤恭一氏と親交があります。今回、吉田屋創業100周年の記念行事として図書館との共催でトークライブが実現しました。

■二宮ゆかりの人物講演会「北村 薫 読むこと書くこと」

吉田屋創業100周年記念トークライブ

日時：11月1日(土) 14:30～16:00

場所：ラディアン ミーティングルーム2

☆往復ハガキによる事前申込み。参加者60名。

■北村 薫氏プロフィール

1949年埼玉県生まれ。早稲田大学卒。推理作家。平成元年『空飛ぶ馬』でデビュー。平成21年『鷲と雪』で第141回直木賞を受賞。『夜の蝉』『スキップ』など著書多数。



↑北村 薫氏

(開催の経緯について詳しくはp3のゆかりの人物コーナーをご覧ください)

《トークライブ》

トークライブは、北村氏と安藤氏の座談形式で行われました。安藤氏からふられた質問や話題に終始にこやかな表情でお話になる北村氏。お二人の深い信頼関係から紡ぎだされるお話はとても興味深くユーモアあふれ、会場はしばしば笑いに包まれました。

〈主な内容〉 ▶二宮訪問時の思い出 ▶創作のアイデアはどこから? ▶円紫さんシリーズについて ▶図書館について ▶教育について ▶質疑応答

北村氏は学生時代に二宮に何度か訪れたことがあります。ラディアンが建つ以前、県の園芸試験場だったときにこの場所に来たことがあるため「ずいぶん変わりましたね」と印象を述べられていました。また、円紫さんシリーズの「正ちゃん」について、実家の仕事についてなどの設定の際、安藤氏は「いろいろ聞かれた記憶がある」と誕生に深くかかわっていたという秘話も披露されました。図書館について北村氏は「図書館の命(価値)は書庫にあると思う」「系統的に知の営みを残し利用させてくれる素晴らしい施設」と述べられ、作品のための調べもので色々な図書館に行かれることもお話し下さいました。余談になりますが、トークライブ後二宮町図書館の館内をご案内した際北村氏は、参考図書コーナーで足を止められ、辞典をご覧になっていらっしゃいました。



北村 薫 読むこと書くこと
平成26年11月1日(土) 主催



↑会場の様子



↑会場内の展示

《展示》 会場では、安藤氏からお借りした関連資料を展示しました。

北村氏、安藤氏が早稲田大学在学中に発行されたワセダ・ミステリ・クラブの機関誌や、個人誌、お二人が学生時代に推理作家の鮎川哲也氏のお宅を訪問した際の書簡、北村氏のデビュー作『空飛ぶ馬』の原稿(北村氏が安藤氏に送ったもの)……と大変貴重でファンには「お宝」の数々でした。

～ 講演会参加者アンケートより ～

とても楽しかった! もっと聞きたかった!

ずっとあこがれていた北村先生のお話を、二宮町でうかがえるとは夢にも思いませんでした

作家さんらしく日常の中でいろいろなヒントをつかみとることがすごいと思う

リラックスした大変楽しい会でした

仲のよいお二人の会話が温かく良かったです

お二人のお人柄が伝わってきました

本当にお二人の温かいお人柄がよく伝わってくるトークライブとなりました。終演後はサイン会も行われました。会場の雰囲気もとても和やかで楽しく、あっという間の2時間でした。

6月～11月の新着本&CD

2014年6月～2014年11月新着分より
(著編者/出版社/出版年月/請求記号)

本

『江戸の食文化—和食の発展とその背景—』

(原田信男/小学館/14.5/383.8 I)

画像
なし

寿司や天ぷらが誕生し、屋台から高級料亭まで様々な外食産業が発達した江戸時代。浮世絵など当時の資料と共に江戸の食文化をわかりやすく解説。命の根源である“食”についてあらためて考えたい一冊。

『大好きに会いに行こう!—世界のお祭り&』

イベントガイドー』(trippiece 監修/

ローソンHMVエンタテインメント/14.6/386 G)

画像
なし

夜空に幻想的なランタンを飛ばすタイの「ロイクラトン」、トマトを投げ合うスペインの「トマティーナ」など、一度は行きたい今最もアツい世界のお祭り(フェス)&イベント45を紹介。

『プラネタリウム解説者に教わる』

よくわかる星空案内』

(木村直人/誠文堂新光社/14.4/443.8 F)

画像
なし

天文サークルや学校の先生など、星空観察で解説する機会のある人に役立つ星空案内のノウハウ本。基本的な知識からわかりやすい星座の覚え方など、初心者のための星座ガイドブックとしても最適。

『くらしのくだもの12か月』

(銀座千疋屋監修/朝日新聞出版/14.6/625 K)

画像
なし

創業120年の銀座千疋屋が伝える、日本の四季をおいしく学ぶ歳時記。月ごとに、その時期の旬のくだものを紹介、おいしく食べる知恵や保存方法、栄養と効能、豆知識が満載。

『相模の海と空—中志信写真集—』

(中志信/神奈川新聞社/13.11/748 J)

画像
なし

なぜ自分は、相模の海と空の写真を撮り続けてきたのか……?それは、昔愛読していた山川方夫の影響と気づいた著者。二宮に住んでいた山川の小説の一文を交え、澄んだ青空や、変化する雲、鮮やかな色の海を収めた写真集。

『エッグアートの世界』

—ファベルジェに魅せられて—』

(相澤喜代美/日本ヴォーグ社/14.7/755.0 P)

画像
なし

インペリアルエッグで知られる帝政ロシアの皇帝御用達の宝飾職人ファベルジェに魅せられた著者の高貴で華麗な作品集。卵の中に王冠が入った「ロイヤルプリンセス」等約30点を掲載。

録音 CD (演奏者/収録時間/請求記号)

『2355 0655ソング Best!』

(細野晴臣ほか/50分/267 C)

画像
なし

NHK「Eテレ」で朝晩放映中の5分番組のコンピレーションCD。それぞれのオープニング曲など、各界で活躍中のアーティストが参加している豪華で楽しい1枚。

児童書

『僕は46億歳。』

—親子で読む、壮大な「地球史」カレンダー—』

(豊田充穂/学研教育出版/13.12/450 T)

画像
なし

地球の歴史46億年を1年に当てはめると、人類が四大文明を作ったのは12月31日夜11時59分を過ぎたころ!地球に生まれ生きている奇跡を壮大なスケールで捉えられます。

図書館発見

こどものほんコーナー 書架表示

9月の特別館内整理休館期間を利用し、こどものほんコーナーの書架全てに棚番号をつける作業を行いました。

「検索端末からレシート(資料確認票)を出力しても、どこにあるのかわかりづらい」という利用者の声を受けて、統一した表示をつけ、資料確認票にも【たな10】の様に棚番号が表示されるようになりました。

図書館では、今後も利用者の皆さんが本を探しやすい書架になるよう、工夫していきたいと思っています。疑問やご意見がございましたら、お気軽に職員にお伝えください。



こどものほんコーナーから おすすめの一冊



『水曜日の本屋さん』

画像
なし

- オリヴィエ・タレック
- 光村教育図書
- '09.10
- E 外

一冊の本を介した、おじいさんと少女と本屋さんのお話。そこにある時間の流れは静かでやさしい。ほっこりする。自身の心が折れた時、本屋に立ち寄り、その空間に癒された経験を思い出した。こんな街の本屋さん、あったらいいなという願いを込めて……。

図書館発見 → 地域資料展示ケース & 特別コレクション常設展示

◆10月から地域資料展示ケースの場所が変わりました！

地域資料コーナーに展示ケースが設置され、今年で丸9年が経過しました。借用した資料など、貴重な展示物もあるのですが、奥まった場所のためか、目に留まりにくく「もったいないね」という声もありました。

そこで、9月の特別館内整理休館の際、展示ケースを2階旅コーナーの前に移動しました。階段を上がってすぐの場所に移動したことで、足を止めて展示をご覧になる方が増えたようです。今後も3か月ごとに展示を入れ替え、二宮ゆかりの人物をご紹介します。



←2階の旅コーナー前に移動した展示ケース



↑特別コレクション常設展示

◆特別コレクション常設展示を始めました！

また、いままで地域展示ケースを設置していた場所には新たに特別コレクション常設展示の展示ケースを設置しました。この展示ケースは町内の徳富蘇峰記念館から寄贈されたものです。二宮町図書館地域資料特別コレクション(山川方夫・柴野拓美・原石鼎の3氏)関連資料を展示していますので、どうぞご覧ください。

ベストオーダー 2014年5月～10月

※この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 虚ろな十字架／東野圭吾
- 2 村上海賊の娘 上・下／和田竜
- 3 マスカレード・イブ／東野圭吾
- 4 山女日記／湊かなえ
- 5 女のいない男たち／村上春樹
- 6 荒神／宮部みゆき
- 7 銀翼のイカロス／池井戸潤
- 8 豆の上で眠る／湊かなえ
- 9 明日の子供たち／有川浩
- 10 白蓮れんれん／林真理子

ふう〜ん

らんじゅうたい
蘭奢待の秘密

東大寺止齋院に収蔵されている天下の名香「蘭奢待」。宝物殿目録には黄塾香と記されており「蘭奢待」は銘ですが、実はこの「蘭奢待」という名には「東」「大」「寺」の3文字が隠れています。

「北村薫デビューの頃」 寄稿:安藤恭一 ★二宮ゆかりの人物 特別編

作家の誕生に立ちあえる経験など、そうめったにあるものではない。

88年秋のこと。北村薫に招かれて、埼玉の自宅に遊びに行った。「読んで感想を聞かせて」と、ある原稿を手渡された。それが「織部の霊」だった。ひき込まれるように読み始め、読後思わず、傑作！と叫んでいた。聞けば、大学時代からの知人、東京創元社の戸川さんに依頼されて、ミステリーを書いているという。ようやく、本当によく北村薫がプロの作家になるんだ、とうれしさより、なにかしみじみとした思いがした。

学生時代から、北村薫の文才はワセダ・ミステリ・クラブのみならず、広く知られていた。当時の「かとりせんこうはなび」「眼」「手を冷やす」は、各短篇と評価が高かった。仲間の誰もが認める才能で、いずれは芥川賞か直木賞を獲るものと、みんなが信じていた。

ところが大学卒業後、仕事が忙しくなったこともあり、全く小説を書かなくなってしまった。北村薫の熱烈なファンのひとりである私にとって、それが残念でならなかった。どうしても北村薫の小説が読みたい、と思った。そこで考えついたのが、仲間を集め、みんなで創作短篇集をつくることだった。

第一弾が、東京をテーマにした小説集。北村薫は「くらやみ」と「洒落小町」の2編を提供してくれた。正直に言って、自分も含め他の素人の下手な小説がついてくるのは、残念だが、少くとも北村薫の短篇小説が読めたことに大いに満足した。これに味をしめて第二弾を企画した。今度は旅をテーマにした小説集。この時は「霧」という作品を書いてくれた。

こうして読みたい飢えを、なんとか満たしている時に、突然のプロ宣言。いや、驚いた。小躍りするほどうれしかった。

その日以来、ほぼ2〜3週間に1編ずつ、原稿が送られてきた。「砂糖合戦」「胡桃の中の鳥」。傑作。なにより新しい。主人公といい、日常の謎といい、これまでにないミステリーだと思った。「赤頭巾」「空飛ぶ馬」。今この瞬間、こんな傑作が生まれていることを誰も知らない。世の中に自分ひとりが、選ばれて読んでいるという光栄。秀れた作家がまさに誕生しつつあるという実感が、除々に体に満ちあふれてきた。幸せだった。この年の秋は、一生忘れることがない。

やがて89年となり、北村薫の最初の小説集『空飛ぶ馬』が刊行された。

p.1の特集でも取り上げたように、11月1日に直木賞受賞作家の北村薫氏のトークライブを開催しました。北村薫氏は二宮ゆかりの人物として図書館だより第34号(2008年7月15日)のこのコーナーでご紹介しています。北村氏は学生時代に二宮町を訪れており、作品には二宮を描いたものもあります。今回のトークライブが実現したのは、町内の書店(株)吉田屋の店主安藤恭一氏が北村氏とワセダ・ミステリ・クラブで知り合い、その後も深い親交があることによります。今年の吉田屋創業100周年にあたり「北村氏を招いての記念事業を図書館との共催という形で行いたい」というお話をいただき開催できたことは、図書館にとっても大変にありがたいことでした。

今回このコーナーの執筆を安藤氏に依頼し、北村氏の作家デビューの頃の貴重なお話をご寄稿いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

お知らせ・お願い

★図書館スポンサー制度による受入のお知らせ

「一枚の繪」「日本カメラ」は、平成26年7月発行分よりスポンサー制度で受入再開しました。

★リサイクル雑誌の提供について

6月から毎月設置していた雑誌リサイクルコーナーは、2014年11月以降は隔月(奇数月第4日曜日)に変更しました。今年度は1/25(日)、3/22(日)の予定です。

★リサイクル図書の提供について

7月から図書リサイクルコーナーを設置しています。図書館で不要になった本や、寄贈された本で図書館の蔵書にならなかった本をお分けします。

場所…図書館入口脇

内容…本を一人5冊までお持ち帰りできます

補充日…毎月館内整理日の翌日に本を補充します

今年度は1/6(火)、2/4(水)、3/4(水)の予定です

※毎年5月に開催していた「図書館リサイクル市」は昨年で終了しました

※図書館基金への募金の協力をお願いしています

新刊図書をリクエストされる方へ

ご利用いただく順位をより公平にするため、2014年10月1日より、**新刊図書のリクエストの受付開始は発売日(書店で販売される日)以降**となりました。お申込みの前に、出版年月を必ずご確認ください。

※発売日は出版社ホームページ等、公式な情報によるものとします

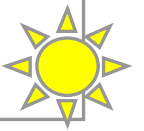
※発売日前のリクエストはお断りさせていただきます
ご理解とご協力をお願いいたします

にんぎょうげき大会

3月21日(土)に予定しています。

詳細は3月号の広報にのみやお知らせ版及び館内掲示等でご案内する予定です。

お楽しみに!



行事

※くわしくはお問い合わせください。

行事・事業	対象	とき	時間	場所
ちいちゃいおはなし会	2～3歳児とその親	毎月第2水曜日(※1月2月は第3水)	10:00～10:30	図書館 おはなしのへや
おおきなおはなし会-小学生から	小学生～大人	毎月第3土曜日	13:30～13:50	
おはなし会とおりがみあそび	幼児・小学生		14:00～14:50	
図書館託児サービス (保険料30円)	町内在住の未就学児	毎月第3木曜日(※12月は第2木) (※申込みは毎月1日より)	10～12時の内 1時間	ラティアン保育室

展示テーマ

7月	一般/『さあ、夏休みだ!何をする?どこへ行く?』 児童/『夏の思い出』『課題図書・すすめたい本』	■特設展示(6～11月) 『男女共同参画週間』 『第151回芥川賞・直木賞発表』 『クリスマス・年末・お正月特集』 『ダニエル・キイス』『木田元』 『稲葉真弓』『赤瀬川原平』 } 追悼展示
8月	一般/『詩とであう ことばと遊ぶ』 児童/ (7月と同) A V /『南の島へ』	■児童特設(6～11月) 『古田足日』 『しゅくだいコーナー』 『トーベ・ヤンソンさん生誕100年』
9月	一般/『チャレンジ』 児童/『この本、読もう! ~本は友達~』	■地域資料展示ケース【二宮ゆかりの人物】 7～9月『吉田五十八生誕120年・没後40年』 10～12月『二見利節 PART4』
10月	一般/『直木賞受賞作家 北村薫氏 来る!』 児童/『秋っていいな』	■書庫の本紹介コーナー 7～9月『食』な小説』 10～12月『時代小説 女性作家編PART II』
11月	一般/『“スポーツ”あれこれ』 児童/ (10月と同)	

ご協力ありがとうございます

図書館基金

10月末までの累計
3,710,462円

《月別合計》

5月 3,843円
6月 3,503円
7月 6,553円
8月 4,500円
9月 14,044円
10月 4,468円



ひとつだけ ~編集後記にかえて

2003年にリニューアルして発行をはじめた図書館だよりも今号で60号を迎えました。今年度は年2回の発行となったため、皆さまにお知らせしたいことなどは館内掲示やホームページなどで先行する形になっていました。でも!今後も皆様からいただいたお声などを励みに、発行を重ねていければと思っています。ご意見ご要望などどうぞお気軽にお寄せください!

編集・発行 二宮町図書館

住所 〒259-0123

二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913 FAX 0463-72-6914

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

☎ 図書館だよりCD版もあります。お問い合わせください!

『二宮ゆかりの人物
ガイドブック』
好評発売中!

